

京のみどり

No.107
2023夏

特集

京都一周トレイル®を知る、歩く

訪ねてみよう京の庭

甦った庭屋一如の景「山荘 京大和の庭」

京のまちに雨庭をつくろう！

世界銀行が京都で都市開発実務者向け対話型研修

～気候変動に強靱な「自然を基盤とした解決策」を考える～

京都一周トレイル®を 知る、歩く

新緑の輝きが夏の到来を告げ、山々の恵みを感じさせてくれる季節。今回の特集は昨今の登山ブームも一翼を担い、愛好者が増えている「京都一周トレイル®」です。自然に寄り添い安全なコースを支える人々にスポットを当て、歴史と文化が共存するトレイルの魅力を紐解きます。



撮影場所 京都一周トレイル® 東山コース

トレイルコースの安全を支える人々

<お話を聞いた人>



竹内光雄さん

就職した京都で山や人々と出会い、国内外で多くの登山活動を経験。2008年より京都山岳連盟理事就任及びトレイル委員会に参加。現在はトレイル委員長を務める。京都府山岳連盟HP：<https://kyoto-gakuren.jp/>

京都一周トレイル®は、1993年から市内5か所に開設されたトレイルコースです。京都市をはじめとする行政機関や交通事業者（一社）京都府山岳連盟などからなる「京都一周トレイル会」によって開設されたコースは、遊歩道などを新たに設置するのではなく、既存の山道や古道などを取り入れる点が特徴。そのため利用者が安全かつ快適に歩けるよう、倒木や枯れ木の処理、目印になる標柱の整備、コース上のステップづくりといった保全補修作業が必要です。この大切な作業が京都府山岳連盟の皆さんの手によって、30年に渡って行われてきました。



現在は約30名が所属するトレイル委員会。取材当日は約20名が2コースに分かれて整備活動を行いました。

安全なコースづくりを目指して

京都府山岳連盟は、社会人・学生の33の山岳会や有志の個人で構成されており、連盟の中の「トレイル委員会」が京都一周トレイル®の整備活動を担当しています。定期的に行われている整備活動では、通行の妨げになる倒木や頭上に繁

整備例：コースの崩落



2



1 斜面上側を崩し道狭を広げる



3

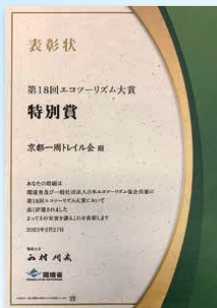
2 斜面下側に土が流れないように、杭と丸太を設置

3 コースが崩れないよう補修箇所をワイヤーで固定

第18回エコツーリズム大賞 「特別賞」受賞

京都一周トレイル会の
参画団体

京都市、京都府山岳連盟、京阪電気鉄道、阪急電鉄、西日本ジェイアールバス、京都市交通局、京都大阪森林管理事務所、京北自治振興会、京都市観光協会



2023年2月27日に環境省及び（一社）日本エコツーリズム協会が主催するエコツーリズム大賞において、京都一周トレイル会が「特別賞」を受賞しました。ハード面の整備だけでなく、情報提供やPR活動、公共交通を考慮したコース設定、ガイドマップの売上を維持補修に充当するといった仕組みや整備を含め、長年にわたって多様な主体が協力して運営し、従来の京都観光とは別の切り口での楽しみ方を来訪者に提案してきた点が評価されました。

keyword

「エコツーリズム」とは？

自然環境や歴史文化など、地域固有の魅力を観光客に伝えることで、その価値を守り、保全につなげる仕組みです。

山のマナーを守り、安全で快適な
登山をしましょう！



逆らうとできない自然に向き合う

近年の気候変動の影響は、整備活動にも及んでいます。夜泣峠や上ノ水峠（北山西部コース）では集中豪雨によって表土の崩壊が発生し、杉谷川（東山コース）でも土石流が発生

る枝などを取り除くほか、雨水の流れによってコースの土砂がえぐれ凹凸が生じることがあるため、水の流れが発生しそうな場所があれば、人工的に水の流れを制限する「水切り」という作業も欠かせません。
他にも、コースの道順や現在地点を示す標識の設置と維持、トレイル利用者へのマナーや注意喚起の掲示物も設置します。竹内さんによれば、「一連の作業では植物や景観を傷めないことが第一。処理した倒木や枯れ木も、自然に還るようコース脇に残しておきます。また、作業中にトレイル利用者として違った際は、なるべく声をかけるようにしていますが、利用者から思わぬ情報が寄せられることもあり、何よりその会話が整備活動中の楽しみになっているのだとか。

しました。他にも雪害や河川護岸の崩壊などによって大規模な補修作業が必要な事態になることもあります。地権者をはじめとする関係者との調整が必要であるため、復旧までに大幅な時間を要することもあります。また、トレイルコースの道脇には、イノシシがエサとなるミミズを求め土を掘った形跡も目立つようになりました。京都近郊でも増殖する一方のシカも、下層植生を食べつくして山林の生育サイクルを乱すだけでなく、その血を吸うヤマビルを拡散させる要因にもなっています。このように刻々と姿を変え、時には人の手に負えない猛威を振るう自然に翻弄されながらも、利用者の安全を守る整備活動が継続されています。



通行を妨げる倒木はノコギリ等で切断し、歩きやすく。

山のプロが送るアドバイス

竹内さんにトレイルを歩く際のアドバイスをいただきました。「食料や飲み物は忘れずに持っていきましょう。ゴミは必ず持ち帰るのが登山のマナーです。山上の寒さに備え、防寒具も用意しましょう。京都一周トレイル®は道標や補助標識が整備されていますが、道に迷うこともあるので、地図やGPS機能のついた時計があると安心です。またコース上には、ところどころに無地のリボンが見受けられますが、これは利用者が独自に取り付けたものなのでむやみに信用しないようにしましょう。」

道中では多様な植物を目にします。スマートフォンの画像検索機能を活用し、見つけた植物をその場で調べると、また違った楽しみ方で足を進めることができるでしょう。「自然の中で季節を肌で感じられることももちろんですが、コース途中で神社仏閣を巡ることも京都ならではの良さですね。マナーを守っていただき、仲間や出会う人との会話も楽しみながら歩いてほしいです。」他府県の登山コースに行くことも多いという竹内さんはこやかにお話されました。

京都一周トレイル®を知ろう

山を愛する人々によって支えられている京都一周トレイル®。トレイルコースの全容を改めておさらいし、京都の自然や文化と出合う見どころをチェックしてみよう。

京都一周トレイル®とは

京都一周トレイル®は、総距離約130kmのハイキングコースです。「北山西部」「北山東部」「東山」「西山」「京北」の全5コースで構成されています。街と山の距離が近い京都らしく、鉄道駅やバス停などを起点にしやすいコース設定が特徴。道中は道標や案内板が充実しているため安心して歩くことができ、春夏秋冬の草花がコースに彩りを加えます。ほかにも世界遺産をはじめとする京都の文化財、名所旧跡の数々にも気軽に立ち寄れる点や、各所から京都の街並みを見渡せる展望の良さもあり、開設から30年にわたって人気を集めてきました。



提供:観光Navi

北山東部コース

比叡山を越えて大原、静原、二ノ瀬までの約17.9kmのハイキングコース。京都の街並みと豊かな自然、歴史や文化にも触れられます。



提供:観光Navi

北山西部コース

鞍馬から沢ノ池・三尾・清滝までの約19.7km。京都の清遊地で桜や新緑、紅葉、雪景色など四季折々の自然、豊かな歴史や文化に出会えます。



提供:観光Navi

京北コース

緑に恵まれ、夏でも涼しい京北地域を一周する約48.7km。全域が丹波高原に含まれ、9割以上が森林地帯。他のコースよりやや上級者向け。



提供:観光Navi

西山コース

三尾・清滝、渡月橋、上桂までの約12.3km。嵐山の美しい自然や由緒ある寺社仏閣など、四季を通しておすすめできるコースです。



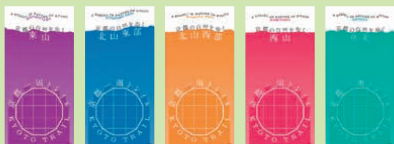
提供:観光Navi

東山コース

伏見桃山から深草までの約9.5kmと、伏見稲荷大社から清水山、大文字山四ツ辻、哲学の道、比叡山までの約24.6kmのハイキングコース。

公式ガイドブックのご案内

京都一周トレイル会は、立ち寄りスポットなどの観光要素、道標番号、道迷い箇所の拡大図、写真などを掲載した公式ガイドマップを作成・販売しています。このガイドマップの売上は、コースの維持補修費に充当されています。



提供:観光Navi

書店、アウトドアショップなどで購入可能。
*京都一周トレイル®30周年を機にリニューアルしました。

トレイルのマナー9箇条

- ① タバコのポイ捨て、たき火は厳禁
- ② 住宅地では静かに
- ③ ゴミはすべて持ち帰り、山をきれいに
- ④ 水はよこさない
- ⑤ 山の財産を荒らさない
- ⑥ コース以外には立ち入らない
- ⑦ 自転車・バイクでは乗り入れない
- ⑧ トイレは事前に
- ⑨ 十分な準備と注意を



京都一周トレイル®を歩いてみよう

歩いてみました!

蹴上〜銀閣寺編

京都一周トレイル®の概要をしっかりとつかんだところで、早速トレイルコースに出てみましょう。今回はビギナー人気も高い東山コースの一部を紹介します。



- 31 …… ねじりまんぼ
39 …… 七福思案処
45 …… 大文字山四つ辻
46 …… 楼門の滝
51 …… 銀閣寺
52-1 …… 銀閣寺道
- ※数字は標識の番号です。

東山コースの蹴上から銀閣寺へ至るルートを歩いてみました。地下鉄「蹴上」駅をスタートし、まずは東山31「ねじりまんぼ」を目指します。

ねじりまんぼ(東山31)

「まんぼ」とは、トンネルを意味する古い方言です。もともと歩行者用トンネルとして造られたねじりまんぼは、その名の通り、渦を巻くように、螺旋状にれんがが積み重ねられた独特な構造をしています。船を乗せた台車がトンネル上部を通過するので、その重さに耐えられるようにこうした構造になったのだとか。



ねじりまんぼ

コース上で出会った植物



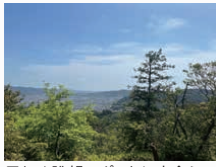
クロバイ(ハイノキ科/花期4~5月)



ヤブツバキ(ツバキ科/花期11~4月)



ゼンマイ(ゼンマイ科/花期8~10月)



思わぬ眺望スポットに出会うことも。



岩がむき出しの場所に自生する植物。

東山39「七福思案処」から東山45「大文字山四つ辻」まではアップダウンが続きますが、コースで出会う植物や野鳥、虫たちを観察し、森に吹く心地よい風を感じながら歩くことができます。前方だけに視線を向けるのではなく、時折後方を見てみると木々の間から市街地が一望できたり、足元の感触で硬い岩石のチャートを確認したりと五感で得られる発見を見逃さないようにしましょう。



蹴上インクライン



生命力を感じる木の根道。



シャガ(アヤメ科/花期は4~5月)。湿気のある山間部に自生しています。

ねじりまんぼをくぐって「蹴上インクライン」沿いに坂道を上ると、シャガの花が美しく咲くエリアに。東山33・1で北と東に分岐します。北回りに進むとコースは徐々に登山道に入り、山景色に変化します。日向大神宮を通り抜けると地表にびっしりと根を張った木の根道が続きます。

大文字山四つ辻(東山45)

神明山と毘沙門堂、比叡平からの道が合流する東山45からトレイルコースを外れて大文字山山頂の三角点や火床に立ち寄り、眺望を楽しみながら休憩を兼ねた食事をとるのもおすすめです。

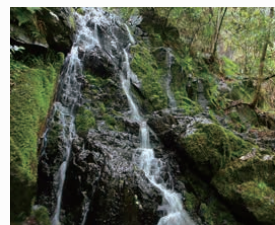
立ち寄りスポット



大文字山山頂(三角点)多くの利用で賑わいます。

楼門の滝

トレイルの心地よい疲れを癒してくれる楼門の滝。初夏には周囲の新緑が清涼な雰囲気を一層引き立てます。コースの端にあるため、見落とさないよう注意してください。



楼門の滝

大文字山四つ辻からさらに進むと、苔と新緑が美しいエリアに。桜谷川の源流が姿を現し、川に沿ったコースとなります。東山46「俊寛僧都忠誠之碑」からの急坂を慎重に下ると「楼門の滝」から流れ落ちる水の音が聞こえてきます。

蹴上〜銀閣寺編で最後の山景色になるのが東山47・2。コースに沿って歩き進めながら、山々の自然から街中で見られる自然へと景色の変化を感じることが出来ます。東山51界隈の「銀閣寺」は観光スポットでありながら、琵琶湖から引いた疏水沿いに生息するヒメウツギやコデマリといった草花も見どころ。桜の名所でもあり、山歩きとは異なる風情が楽しめます。

今回の取材では、トレイルを楽しむ市民や観光客と出会いましたが、それも定期的なコース整備や案内の充実など、安心して歩ける環境があつてこそ。各コースの特色や観光スポットを下調べし、あなたもこの夏は京都ならではのトレイルで心地よい汗を流してみよう。

訪ねてみよう

京の庭

Japanese Gardens in Kyoto

京の都ならではの発展を遂げた茶道、華道、祭事、芸能などと深く関係し、「緑の文化」を形成してきた「庭園」。1200年という長い時間のなかで造られた、質の高い「京の庭」で癒やしのひと時を過ごしてみよう。

武田 純 たけだ・じゅん

造園デザイナーとして京都、国内外の実績多数。ウッズプランニング代表。2001年、世界でも権威があるとされる英国の園芸品評会チェルシーフラワーショーで福原成雄氏、吉田昌弘氏とともに日本庭園を作庭・出展し、最優秀賞及びショーガーデン部門金賞を受賞。



京の庭Web版

甦った庭屋一如の景

山荘 京大和の庭

◆作庭年代 江戸中期(霊山叔阿弥として)

◆様式 池泉回遊式

[所在地]京都市東山区高台寺柵屋町359 [電話]075-525-1555

[交通機関]市バス「東山安井」から徒歩5分、京阪電車「祇園四条」から徒歩16分

[公開状況]営業中は表門が開いていますが、庭を見ていただけるのは京大和をご利用の方。水曜日定休(変更の場合もあるため要問合せ)

[文化財指定・登録状況]翠紅館、送陽亭、翠紅庵・胡廬庵は京都市歴史的建築物に登録(2016年)



重厚な構えを見せる表門



東山の山麓を彷彿とさせる庭(武田氏撮影)

高台寺南門通りを東に進み観光客で賑う「ねねの道」や二寧坂を越えると、その先は幕末に活躍した志士たちが眠る京都霊山護国神社の参道「維新の道」となります。正面に大きな石鳥居が建っており、その右手に老舗料亭「山荘 京大和」が姿を現します。門前には「翠紅館跡」の石碑と案内板があり、勤王の志士たちとの由来が紹介されています。この建物や庭は平安時代に興された霊山寺に始まり、鎌倉

維新の道から東山三十六峰を背に京都市街を一望する景へ

時代には眺望の美しさから「翠紅館」(コラム参照)と名付けられ会合に使われたと伝わっています。江戸時代に出版された「都林泉名勝図会」(※)にも「霊山叔阿弥」として、美しい庭と宴席の様子が紹介されています。

「京大和」は明治の頃から続く料亭で、江戸時代の翠紅館や庭園も保存活用されてきました。その後、2014年からパークハイアット京都と一体化した大規模な歴史的建造物の保存・復活改修計画が行われ、2019年10月に営業が再開されました。高低差のある地形を活かした庭の中に、伝統的な建物と近代的な建築物の瓦屋根が重なる景が広がっています。



高台にそびえる送陽亭

庭の計画から施工は北山造園の北山安夫氏が担当し、その後も土壌や植物などを育成しながら「庭と建物が一体となって育っていく」姿を庭師として見守っています。

京都の歴史や伝統を認めながら新たな息吹を吹き込む



たす ころあん
露路に佇む茶室「胡廬庵」

重厚な構えを見せる表門からは邸内に続く砂利道と石段が少し見え、中へ誘い込んでいくようです。一歩足を踏み入れると左手は急峻な崖地となり、其処此処から岩清水が湧き出る東山の山麓の姿を彷彿とさせています。樹林の中には数寄屋造りの建物が散在し、見上げると高台には「西山に沈む夕日が美しく見える」とから名付けられた「送陽亭」が凛々しい姿を見せています。

主園路から外れ谷川の石橋を渡ると樹

林の中に石段が続き、その先には露地が木立ちに包まれて茶室「翠紅庵・胡廬庵」と共に静かに佇んでいます。緑陰の小徑に身を置けば、「山路を来りて庵に至る」という侘茶の世界を感じることができま

す。さらに奥には懸崖のような石積と老木の間に縫うように石段が続き、訪れた人をその先へと誘います。石段を登りきると視界が開け、明るい池庭と翠紅館が姿を現します。池の片方を囲い込むように配置された軒や縁先の水平線が景に深い陰影を与え、落ち着いた静かな空間を創り出しています。池畔に佇み耳を澄まし



時の流れを感じさせる池庭と「翠紅館」

てみれば、数年前に改修されたとは思えないほどの悠久の時の流れに触れ、京の歴史を語りかけてくれるかもしれませ

ん。景が次々と変化して訪れた人を次の場面へ誘い込み、庭が創り出す物語を感じさせる素晴らしい日本庭園の技です。庭や座敷など、それぞれの場所からも、八坂の塔や東山の伝統ある家並みの向こうに京都の町が見え、様々な景が楽しめます。

美しい京料理を愛でながら、「庭屋一如」(※2)の景を堪能してみたいかがでしょうか。

(※1) 都林泉名勝図会

……1799年に出版された秋里籬鳥著『都林泉名勝図会』には江戸時代の京都の著名な庭園の風景図が掲載されている。江戸時代の貴重な庭園資料となっている。

(※2) 「庭屋一如」……「庭と建物は一つの如し」、庭と建物が融合し自然と調和する境地という意味で使われる。もとは、数寄屋建築・茶室研究の大家・故中村昌生氏(1927・2018)が提唱した概念。

コラム 日本庭園を楽しむヒント

駒札「翠紅館跡」

門前の駒札には、かつての景観の素晴らしさから翠紅館と名付けられた経緯が書かれています。

ここに幕末の頃、翠紅館と呼ばれていた屋敷があり、たびたび志士たちの会合の場となっていた。もとは正法寺というお寺の塔頭のひとつがあり、眺望がよく、会合などに利用されていたのを鎌倉時代に公家の鷲尾家が買い取り、その景観のすばらしさから「翠」と「紅」の素晴らしい館という意味で名付けたといわれる。(略)文久三年(1863)、正月二十七日(略)ついで同年六月十七日にも(略)これら各藩(注=土佐藩、長州藩、久留米藩)の志士代表者会議で、攘夷の具体的な方法が検討され、世にこれを「翠紅館会議」という。(略)

京都市



石橋を渡り、山路に分け入る



グリーンインフラ

京のまちに

第28回

雨庭をつくろう!

あめにわ
雨庭とは?

雨水をすぐ下水に流さずに一時的に貯留し、時間をかけて浸透させるための植栽空間。雨水の流出抑制やヒートアイランドの緩和などの効果が期待されることから、近年広まりつつある「グリーンインフラ」の一つとして注目されています。

このシリーズでは、現代都市が抱える多くの環境問題の解決策として注目される「^{あめにわ}雨庭」とグリーンインフラ(GI、自然環境が持つ多様な機能を、環境・経済・社会の様々な課題解決に活用する、防災・減災を含む社会資本や土地利用)について様々な視点で考えています。

世界銀行が京都で都市開発実務者向け対話型研修

ネイチャーベースソリューション

～気候変動に強靱な「自然を基盤とした解決策」を考える～

都市化と人口集中が急速に進む世界の国々では、気候変動や地震などのリスクが高まり、経済的損害や社会不安を招いています。このような中、都市や地域の強靱性(レジリエンス)を高める方法として、「ネイチャーベースソリューション」(Nbs)。自然を基盤とした解決策。キーワード①参照への関心が高まっています。

世界銀行の東京開発ラーニングセンター(TDLC)と東京防災ハブ(キーワード②参照)は2023年2月下旬、途上国の都市開発実務者向けに「気候変動に強靱なNbs」をテーマとした研修プログラムを東京、京都などで開き、このうち京都市内では、筆者(森本)が京都市都市緑化協会も協力し、本シリーズで取り上げてきた雨庭の視察などを組み込んだ研修が行われました。

今回は、研修の概要と、各国の実務者にとのようなが注目されたのかをご紹介します。

(写真提供 世界銀行TDLC)

キーワード① **ネイチャーベースソリューション**
(Nature-based solutions: Nbs)

自然を基盤とした防災・減災、地域経済、コミュニティなど様々な社会課題の解決策。国際自然保護連合(IUCN)が2016年に提唱した定義では「自然または人為的に改変された生態系を保護し、持続可能に管理し、復元するための行動であり、社会全体の課題(気候変動、食料と水の安全保障、自然災害など)に効果的かつ順応的に対処すると同時に、人間の幸福と生物多様性の恩恵を提供するもの」とされています。Nbsへの投資を積極的に行うことにより、気候変動対策、生態系保全を進めながら社会・経済に利益をもたらす、都市など地域の強靱性(レジリエンス)を高められるという考え方に基づいています。

日本語で読める事例や資料については、Nbs研究センター(IUCN日本リエゾンオフィス・大正大学地域構想研究所運営のポータルサイト)などがあります。

キーワード② **世界銀行 東京開発ラーニングセンター**
(TDLC)と東京防災ハブ

世界銀行(The World Bank)は1944年、戦争で荒廃した国々の戦後復興を目的に設立された国際復興開発銀行(IBRD)や国際開発協会(IDA)など5つの国際機関で構成され、加盟国は189カ国。国連の専門機関でもあり、本部は米国ワシントンDCにあります。

●東京開発ラーニングセンター(TDLC):2004年に設置し、途上国の都市開発支援を強化しています。TDLCと京都市は2017年に都市連携プログラム(CPP)の協定を結んでおり、京都市はこれまで観光都市・創造都市の形成に関する研修への協力を行っています。

●東京防災ハブ:東日本大震災の教訓を元に、日本政府と世界銀行は、防災投資に関して特別の基金を設け、知見共有、情報発信、途上国への技術支援プログラム提供を行う「日本-世界銀行共同防災プログラム」を実施しています。その実施母体として、2014年に東京防災ハブを設置し、各国の気候変動や自然災害に対する強靱化の支援をしています。

世界各国から都市開発実務者など50名が京都に

この研修は、途上国の都市開発実務者向けに定期的に開催される対話型研修(テクニカル・タイプ・ダイブ(TDD))の一つ。Nbsの計画立案、コミュニティの連携、資本の動員、都市の強靱性を高める包括的な対策など、都市や河川環境におけるNbsの企画と実施に関する様々な側面を、講義や対話を通じて探ることが狙いでした。

2月20～24日に表のとおり実施され、9か国(インドネシア、カンボジア、ベトナム、ヨルダン、ウズベキスタン、コートジボワール、ルワンダ、ホンジュラス、スリランカ)から実務者17名が参加し、日本や海外からの登壇者、世界銀行の専門職員(タスクチーム・リーダー)などをあわせると約50名が京都に2日間滞在しました。

表 世界銀行TDLC・東京防災ハブTDD研修(概要)

テーマ・場所	セッション
2月20日 東京	基調講演(世界各地のNbSの活動と課題等) NbSの計画と政策 日本と東アジア地域におけるNbSのガバナンスと資金調達
NbSの概要	米国内における計画立案: 国家レベルから事業レベルまで シフト・アンド・シェア: 参加国の課題発表 行動計画策定、TDLCによる融資事業向け技術協力、日本の信託基金による世銀のプログラムに関する説明
2月21日 東京・横浜	洪水リスク管理のためのNbS 流域管理におけるNbS 市民と連携するNbS 災害リスク削減の渡良瀬遊水地の事例紹介 視察: 鶴見川遊水地
2月22日 京都	田んぼガムの事例【吉川夏樹(新潟大学)】 比良山系におけるコミュニティ・エンゲージメントの事例【深町加津枝(京都大学)】 NbSにおけるコミュニティ・エンゲージメント 土砂崩れの管理 カレン・サドマイヤー【国連環境計画】 温故知新のNbSとしての雨庭グリーンインフラ【森本幸裕(京都大学、京都市都市緑化協会)】 視察: 京都市雨庭(四条堀川)、京都御苑雨庭(間之町口、日新アカデミー研修センター雨庭(右京区梅津)、梅小路公園)のいのちの森【森本幸裕・佐藤正吾(京都市都市緑化協会)】
2月23日 京都 NbSにおける 都市マネジメント と民間資本の動員	都市部におけるNbS シエラレオネ都市部での植林活動 コミュニティ・レベルでの民間資本の動員 都市におけるNbSの計画(インテグレイティブ・セッション) 視察: 嵐山国有林(西京区)
2月24日 東京	各国による行動計画発表 まとめ



▲講義のセッション(森本理事長、京都リサーチパークで)

京都での研修 日本、京都のNbSを学ぶ

22日(京都の1日目)は、「NbSにおけるコミュニティ・エンゲージメント(コミュニティ連携・参画)」をテーマに開催。

午前は講義が行われ、新潟大学の吉川夏樹教授は「田んぼガム」(豪雨時に雨水流出を抑える簡易な設備を水田に設置することで下流域の洪水被害の抑制を行う取組)の新潟県での実績を紹介。雨水貯留・洪水抑制の経済的な価値について、実施した水田面積では、コメ年間収益の半分以上に相当するほど大きいことが示されました。

京都大学の深町加津枝准教授は、滋賀県大津市・比良山系にある18の旧村(集落)における、伝統的な自然資源の利用、石積みのおける、堤防、共有地の管理などの調査について報告。「政府、大学の農村集落への積極的な働きかけはされているか」との質疑があり、大学が積極的に地域住民への聞き取りなど関与することにより、地域の歴史・文化や自然を活用した管理方法への再認識

につながっていると説明がありました。

また、筆者(森本)は、自然の力を活かし、気候変動や災害にも賢く対応するNbSとして雨庭などのグリーンインフラ(GI)の考え方を説明し、生物多様性など多方面の役割を紹介。日本庭園、水害防備林など伝統的な施設に見られる「柳に風」「分散型」の考え方が現代の都市に活かせることを説明しました。海外の参加者から、GIの評価のためのモニタリング、所有者への経済的インセンティブを与える方法などの質疑がありました。

視察で雨庭を支える技術、緑地の価値を考える

引き続き午後は、2グループに分かれ、官民が整備した雨庭と梅小路公園を訪問。四条堀川の京都市が整備した雨庭では、都市みどり政策推進室が石材を使った雨水の空隙貯留、道路表流水の取込み方の構造、地域住民の関わり方などを説明。京都



▲四条堀川の雨庭で京都市担当者に多くの質問をする参加者たち

独自のデザインや管理コストなどについて、多くの質問が寄せられました。

環境省京都御苑事務所が設置した京都御苑間之町口の雨庭では、内水氾らん、



▶京都御苑(間之町口)の雨庭。地下に雨水を植栽帯に引込むパイプがあると説明を受ける。(京都御苑管理事務所の許可を受けて世界銀行が撮影)

バリアフリー化などの複数の課題解決策として整備され、京都の高い庭園技術が用いられたことなどの説明を受けました。また、参加者は御苑の植栽が高い技術で守られていることに強い関心を示しました。

日新電機(株)が整備した日新アカデミー研修センターでは、太陽光発電技術を採用入れた雨水循環システム、雨樋などでの雨水移動の見える化、京都の歴史文化に関係がある絶滅危惧植物を保全する避難地(レ

フュージア)となっていることなどを説明。また、梅小路公園では、旧国鉄貨物ヤードだった敷地が公園緑地に生まれ変わり、庭園やビオトープが造られたこと、京都水族館、京都鉄道博物館と公園の緑があいまって、地域の活性化につながっていることなどの経緯が説明されました。参加者からは、京都市が街区として開発せず、不足していた緑や防災拠点の役割を持たせたことについて、「街中のヤード跡地を公園にするNbSは英断」との声が多く聞かれました。

視察は予定時間を超過して行われ、参加者の関心の高さを示していました。

翌23日は、参加者の国のNbS事例の報告のあと、林野庁が管理する嵐山国有林を視察。日本の里山の特徴や、現代の森林の課題を考えました。

研修を企画した世界銀行TDLCの依渉子プログラムオフィサーは「京都の雨庭などの事例は、参加者たちから、これならできるとなった」という評価をいただいた。今後、各国の都市開発に活かされていくことになると思つと話しています。



▲日新アカデミー研修センター。太陽光発電を用いた雨水循環システムの説明を受ける。

安心・安全で快適な緑の空間を お届けします

— 指定管理者として4公園の管理運営も担います —

京都市都市緑化協会は、京都市の都市公園の指定管理者として、2023年度から、①梅小路公園(下京区・南区)、②宝が池公園子どもの楽園(左京区)、③深草墓園(伏見区)、④円山公園(東山区)の管理運営を担っています(指定管理期間4年間)。さらに安心・安全で快適な空間づくりと緑の価値の保全に努めてまいります。

梅小路公園及び宝が池公園子どもの楽園では、幅広い世代に向けた都市緑化、遊び、健康、交流等の様々な事業を積極的に行います。

深草墓園では、ご遺族の方々的心に残る親しみやすい雰囲気づくりに取り組みます。

円山公園は初めて指定管理者制度が導入されましたが、国指定の名勝としての歴史文化的価値を保全・継承し、情報を発信してまいります。みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



①梅小路公園
(市街地で貴重な災害対策にも役立つ芝生広場)



②宝が池公園子どもの楽園
(子どもたちの冒険心をくすぐる「夢の山」)



③深草墓園
(京都市街を眼下に望める樹木型納骨施設)



④円山公園
(春を告げる祇園枝垂桜のライトアップ)

募集 予告 プランター菜園教室 後期

ご家庭のベランダや庭先で植物、園芸に親しむことを目的に、野菜の種のまき方、育て方、野菜の利用の仕方などを学ぶプランター菜園教室(2023年度後期)を開催します。

応募方法などは市民しんぶん8月1日号や当協会HPをご覧ください。

第1回
8月31日
(木)

第2回
9月28日
(木)

第3回
11月2日
(木)

【時 間】14:00~15:30(1時間半)

【場 所】梅小路公園「緑の館」1階イベント室

【参加費】2,400円(3回分の材料費等)

定 員 30名(応募多数の場合は抽選の予定)

申込締切 令和5年8月12日(土)必着(予定)

申込方法(予定) 7月下旬から配布される市民しんぶん8月1日号や当協会HPをご覧ください。往復はがき、FAX、緑化協会ホームページ内の申込フォームのいずれかでお申込みください。

初心者の方も
申し込みます

お問い合わせ先

〒600-8835 京都市下京区親喜寺町56-3 梅小路公園内
TEL: 075-352-2500 FAX: 075-352-2561



花とみどりの

相談所

Gardening advice

ハイビスカスの育て方

Q 友人からハイビスカスの鉢植えをもらいました。暖かい地域で育つ植物とは知っていますが、詳しい育て方を教えてください。

A ハイビスカスはアオイ科フヨウ属(*Hibiscus*)の植物の総称です。フヨウ属にはムクゲ(中国原産)、モミジアオイ(北米原産)なども含まれますが、日本で「ハイビスカス」といえば、ハワイやモーリシャスなど熱帯の落葉低木やそれをもとに品種改良されたものを指すことが普通です。ここでは、その特徴と育て方をご説明します。

特徴

樹高は0.5m〜2.0mになります。京都での花の開花期は5〜10月です。沖縄ではハイビスカスを別称ブツソウグと呼び、通年花を楽しむことができます。花色は、赤、ピンク、黄、オレンジ、白、

草花や樹木の育て方など、「緑」についてのさまざまな疑問に専門家がお答えします。窓口(梅小路公園内)のほか、電話による相談もお受けしています。(いずれも無料)詳しくは裏表紙をご覧ください。

して室内で冬越しをさせます。

肥料

春から秋の成長期に化成肥料等を施します。ただし、夏の暑さで成長が衰えている時は化成肥料を控えて薄めの液体肥料を施します。

剪定

剪定の適期は4月と10月です。成長期に強い剪定をすると長期間花が付かなくなるので注意しましょう。

挿し木での殖やし方

挿し木で殖やすことができます。ハイビスカスは4月中旬〜6月、コーラル系は5月〜9月が適期です。

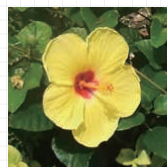
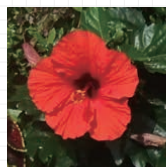
方法は、虫喰いや病気がない健康な枝を10cm程切り取り、下葉を取り除きます。その枝を水に浸し2時間ほど水あげをさせてから、水を含ませた鹿沼土に深さ3cmほど挿します。挿し穂がぐらつかないように周りの土を軽く押さえます。用土が乾燥しないように半日陰に置き管理します。1ヶ月ほどで発根してきます。その後、徐々に日光に慣らし育てます。

(花と緑の普及員 駒井 修)

庭植えを行う時は、5〜6月に行います。ただし、京都では庭植えのままで冬越しは無理なため、10月末までに鉢上げ

庭植え

鉢植えの置き場所は、日光がよく当たる場所に置きます。ただし、夏に弱っている株やハワイアン系の品種は、半日陰へ移動して育てましょう。水やりは、春から秋にかけては鉢土の表面が乾いたらたっぷりを与えます。



花期



未来へつなぐ 和の花

キキヨウ(桔梗)

学名 *Platycodon grandiflorus*

キキヨウ科 多年草

京都府RD: 絶滅寸前種

環境省RD: 絶滅危惧Ⅱ類(VU)



キキヨウは古代からススキやオミナエシなどと共に草原に自生し、焼き畑や飼料の刈取りなど、定期的な手入れによって保ち親しまれてきた植物です。自生種は園芸品種と異なり、背が2m近くにもなり、花壇などで草原の風景を維持するには、手入れの方法に工夫が必要となります。例えば、キキヨウを残し周辺のイネ科などの植物を刈り取ってしまうとキキヨウは倒れてしまいます。

草原に咲くキキヨウの姿を再現したい場合は、周辺の草も一緒に育て、実生木や帰化植物など生育旺盛な植物を選択して除去します。広範囲で草原の景をつくるには、7月下旬頃に一度、刈り取って維持します。さらにキキヨウを印象付けたい場合は、花壇の手前にキキヨウを多く配植し、5月頃に切り戻して、低く二度咲きさせて修景を保ちます。愛着を育てるには、手入れに参加して刈った茎をさし穂にして自身で育てると良いでしょう。

(花と緑の普及員 寺田 裕美子)

2023年7月～9月 緑化協会のイベント

お問い合わせ ・梅小路公園 ☎075-352-2500(月休)
 ・宝が池公園 子どもの楽園 ☎075-781-3010

7月

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1	2

9月

日	月	火	水	木	金	土
27	28	29	30	31	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

申込み不要
当日参加OK

- 梅小路 手づくり市
- 梅小路 プチプレイパーク(無料)
- 梅小路 プレイパーク(無料)
- 梅小路 自然観察会(いのちの森入園料200円)
- 梅小路 ウォーキング教室
- 宝が池 森カフェ(無料)
- 宝が池 プレイパーク(無料)

要申込み

- 宝が池 水辺の生きもの発見隊～川の観察会
(応募の詳細は宝が池公園 子どもの楽園HPをご覧ください。)
- プランター菜園教室(※9ページ参照)

7/22～8/27まで開園時間を延長します!
 17:00まで(通常16:30)
 宝が池公園 子どもの楽園からの お知らせ
 親水空間(水遊び場)オープン中!(10/1まで)
 ※ただし金曜日は清掃・設備点検のため
 ご利用できません。

ご参加にあたって

- 天候、新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、中止や内容変更となる場合があります。
- 参加の際には、ご自分の体調管理と感染予防対策をお願いいたします。



詳細はこちらから
<http://www.kyoto-ga.jp/event/>

京都市 緑のボランティアセンター 専用窓口のご案内

- 場 所** 梅小路公園「緑の館」2F
- 受付時間** 9:00～17:00 ※月曜を除く毎日(12月28日～1月4日休み)
- 問合せ先** 京都市建設局みどり政策推進室
みどり協働担当 TEL:075-222-4114
(公財)京都市都市緑化協会
TEL:075-561-1350

電話による相談 (梅小路公園内専用回線) ※転送される場合があります。

お気軽に
ご相談
ください!

TEL:075-352-2535

無料

草花や樹木の手入れ方法など、「みどり」に関する質問に
相談員がお答えします!

- 相談日** 毎週水・土曜日(12/28～1/4は休み)
- 時 間** 10:00～12:00 13:00～16:00
- 場 所** 梅小路公園「緑の館」 2F 相談ブース

Webサイトでより詳しい情報や過去の相談内容をご覧ください。
<http://www.kyoto-ga.jp/greenery/soudan/>



電話相談も
お受け
しています

TEL:075-561-1980(直通)

Instagram



梅小路公園&宝が池子どもの楽園、円山公園公式アカウント
イベントや見頃のお花などをお知らせしています!



梅小路公園

@kyoto_umejojipark



宝が池公園
子どもの楽園

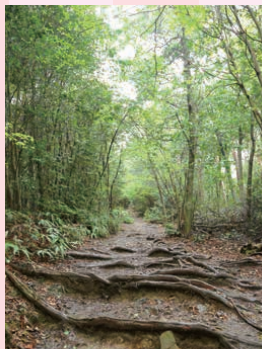
@takaragaike_kodomonorakuen



円山公園
(京都・祇園)

@maruyama_kouenkyoto

表紙の写真



東山コース(京都市)

京都一周トレイル®の標識「東山39」七福思案処からしばらく登ると木の根道が続きます。この辺りは岩盤が硬く根が地中へ伸びずこのような形態になっています。景色だけでなく足元の地質を感じながら歩くのも楽しいですね。(撮影・2023年4月下旬)



2023年 7月発行

公益財団法人京都市都市緑化協会

〒605-0071 京都市東山区円山町463

TEL:075-561-1350 FAX:075-561-1675

Webサイト



<http://www.kyoto-ga.jp/>



制作協力:大平印刷株式会社/有限会社ピース